

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第3回公民館運営審議会
開 催 日 時	令和6年2月16日(金) 午後3時30分～3時50分
開 催 場 所	市庁舎6階 604会議室
出席者の氏名	生野 元、高橋 伸二、佐藤 良一、庄司 賢一、内野 光男、山崎 壽男、 三原 由紀子、加藤 市男、相田 肇、高柳 進、浅田 衛
欠席者の氏名	相川 史生、間庭 秀男、田中 雅文、倉持 伸江
説明者の職・氏名	教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 松井公民館長 吉川 泰央、富岡公民館長 粕谷 紀夫、 小手指公民館長 小川 和彦、山口公民館長 粕谷 広和、 新所沢公民館長 廣谷 貴紀、新所沢東公民館長 新井 浩巖、 並木公民館長 川原 利和、柳瀬公民館長 荒井 直樹 社会教育担当参事 糟谷 苗美 社会教育課主査 和田 順子、有沢 法夫、佐瀬 秀夫 生涯学習推進センター所長 藤巻 幸子 生涯学習推進センター主任 吉田 依里
議 題	(1) 二十歳のつどい (2) 自習室等の取組み
会 議 資 料	資料 生涯学習推進センター・公民館 自習室等の取組み(2月～3月)
担 当 部 課 名	教育総務部社会教育課 電話：04(2998)9242

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	1 開会
教育長	2 教育長挨拶
委員長	3 委員長挨拶
委員長	4 議事 ※傍聴者5名。
委員長	<p>(1) 二十歳のつどい</p> <p>二十歳のつどいについて、ご意見をお願いしたい。</p>
委員	<p>本事業については、本来成人になったことをお祝いする趣旨で開催するものだと思うので、成人年齢が18歳となったことを踏まえ、見直しが必要ではないか。</p> <p>開催方法については、地域ごとに行う良さもあるが、実行委員の高齢化や他にも地域の役員が持つ役割が増えていることから、負担を減らす意味でも、一か所での開催としてはどうか。市長や教育長の話に参加者が直接聞けることも利点である。</p>
委員	二十歳のつどいは継続したほうが良いが、地区ごとの開催だと出身校によっては顔見知りがおらず、会場を変更して参加する方もいた。そのような見直しを今後もしていければ、参加者が増えるのではないかと思う。
委員	二十歳のつどいは重要だと認識している。女性は着飾る場でとても華やかなので、会場もそれにふさわしい会場を希望するのではないか。会場については、ミューズなどに変更できるか、検討してほしい。
委員	吾妻まちづくりセンターで二十歳のつどいを見守った。参加者は南陵中学校の先生と話す場が設けられていたが、会場には山口中学校の卒業生もいたため、参加会場を選択できるようになっていればよかったと思う。
委員	会場で、参加者から感謝の言葉をもらえ、自分自身も激励した。地域にも様々な行事があり、若者の参加もあるので、褒めて、ある程度のことは自由にやってもらいながら育てていきたい。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>三ヶ島地区で実行委員として携わったが、二十歳のつどいは地域で行うことが良いと考える。公民館や地域の人は、二十歳の方と接する機会がないので、この機会に接し、やがていずれは公民館に戻ってきてほしいという気持ちがある。地元に戻り、地元の人が祝うことが望ましいのではないか。</p>
委員長	<p>新所沢地区で実行委員として携わった。それぞれの地区で行うことが良いと考える。初めてホールに入った参加者もあり、せっかくなので館内を見学して回った。分散の意義はある。学校区と行政区が異なることもあり、現在はどこの会場に参加しても良いことになっている。私立に行った方や、引っ越した方も二十歳のつどいに参加するため、同窓会になってしまわないよう、皆で楽しくやろうと声をかけている。来年度もいいかたちのつどいできればと思う。</p>
事務局	<p>（２）自習室等の取組み 資料 生涯学習推進センター・公民館 自習室等の取組み（２月～３月）について説明</p>
委員長	<p>質問等があればお願いしたい。</p>
委員	<p>コロナ禍前は公民館ロビーにスペースがあったが、今はない。予約なしで子どもや親がくつろげるスペースを意識して作るのがいいと考える。図書コーナーもあったが、読んでいる人を見ない。どの年代を対象にするかよく考えてもらい、対象者にあった本を置くなどし、集まる人がくつろげるような企画をお願いしたい。</p>
委員長	<p>フリースペースの有効活用について、地区の事情もあると思うが、センター長にご検討いただければと思う。</p>
事務局	<p>５ 閉会</p>